

製品名: SIK (リン酸化 Thr182) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab06079

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	86kDa

抗原情報

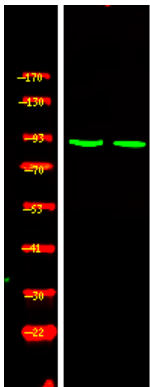
遺伝子名	SIK1 Serine/threonine-protein kinase SIK1 (EC 2.7.11.1) (Salt-inducible kinase 1) (SIK-1)
別名	(Serine/threonine-protein kinase SNF1-like kinase 1) (Serine/threonine-protein kinase SNF1LK)
遺伝子 ID	150094.0
SwissProt ID	P57059
免疫原	ヒト SIK (リン酸化 Thr182) 由来の合成ペプチド

背景

触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子:マグネシウム。酵素調節:STE20 関連アダプターアルファ (STRAD アルファ) 擬似キナーゼおよび CAB39 との複合体における STK11 による Thr-182 のリン酸化によって活性化されます。機能:心筋細胞の分化および/または原始的な心室形成の最初期段階における一時的な役割。また、骨格筋の成長および/または分化の最初期段階にも重要である可能性があります。G2/M 細胞周期の調節における潜在的な役割。CREB 特異的コアクチベーターである CRTC1-3 をリン酸化および抑制することにより、CREB の活性を阻害します。PTM:DNA 損傷時におそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。AMPK サブファミリー。類似性:1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性:1 つの UBA ドメインを含む。細胞内局在:リン酸化されると細胞質に移行し、そこで YWHAZ に結合します。サブユニット:Thr-182 がリン酸化されると、YWHAZ に結合して活性化されます。、

研究分野

画像データ



MCF-7 細胞 1 個、LPS 100 ng/mL 30 分処理 2 個を、一次抗体を 1:1000 希釈でウェスタンブロット分析した。二次抗体は 1:10000 希釈で行った。